

【人生の添乗員 (R)】からのワンポイントメッセージ

家計収支、思いとズレがあった時の方が学べる！？

発行者：牧野 F P 事務所 合同会社 代表社員 牧野寿和

牧野 F P 事務所 公式サイト：<https://www.makino-fp.com>

<第 405 号の目次>

■ 今週のテーマ

家計収支、思いとズレがあった方が学べる！？

■ 「人生の添乗員 (R)」からのワンポイントメッセージ

■ 「人生の添乗員 (R)」牧野寿和のプロフィール

■ 編集後記

それでは、

今週のテーマからはじめます。

*:**

■ 今週のテーマ

家計収支、思いとズレがあった時の方が学べる！？

*:**

「無駄遣いをやめて、お金は貯めなくては！」

もの心がついた頃から、
親、祖父母それに
親戚のおじさんやおばさんに言われて、

その後、人生のさまざまな場面で、
さまざまな人からも言われる、

ひょっとすると、

私たちが、
生涯でベスト10にカウントできるくらい、
よく聞く言葉かもしれません。

ただ、満足出来るように達成できた、
とはあまり聞かない言葉でもあります。

生涯、家計収支を、
問題なくコントロールすることは、
至難の業と言えるでしょう。

しかし、思い通りに、
家計収支がコントロールできなくても、

「思いとはズレがあったけど、まあいいか！」

ご自身の思っている家計の運営の思いと、
ズレがあった時、

ズレがあったからこそ、
学べたことも多くあった、
と妥協できるくらいの、
家計運営はできるようにしたいものです。

そこで今回は、
家計収支をコントロールする上で、

最初は、思い通りにならなくても、
時間をかけてものにできればよいこと。

必ず、しておくことが必要なことを、
考えてみることにしました。

貯蓄をすることは必要

お金を貯めることに、
意義があると思っている方もいます。

私は、お金を貯めていくことは、
生涯、必要なことだと考えています。

そもそも貯蓄の目的は、
近い将来、十数年後、遠い将来と、
近い将来や中長期に渡り、
ご自身とご家族が成長するのに伴い、
まとまった高額な支出が予定されている場合、

- ・ 住宅購入の時に頭金として支払う資金
- ・ 子どもの大学などの入学準備や授業料などの費用
- ・ ご自身または配偶者との老後の生活資金 など

支払うその時になって、
一度に支出できない金額のお金を、
計画的にあらかじめ貯めて、
準備しておくことは、

一度にお金を支払うことによって、
その後の家計が成り立たなくことを防ぐためにも、
必要なことです。

そのためにお金を貯めるとは、
言い換えれば、
資産を形成していくことにもなるのです。

次に、貯蓄とこの資産形成の関係を考えてみます。

貯蓄と資産形成

お金を貯めていくのに、

貯めて使う目的から、
貯める金額を算出するとき、

例えば、貯める目的を
住宅の頭金に使うためにと決めたとします。

その金額は、
具体的に、5年間で300万円貯めるとすると、
単純に毎月の貯蓄額は、

$300 \text{万円} \div 5 \text{年間} \times 12 \text{カ月} = 5 \text{万円}$
一カ月5万円ずつ、
貯めていくこととなります。

もっとも、住宅を購入するのに、
住宅ローンを組んで融資を受ければ、

住宅の購入価格や
住宅ローンの借入額、返済金利にもよりますが、

ここで算出した、
毎月、5万円またはそれ以上の金額を、
家計から定期的に支出することとなります。

まずは、この金額が、
ご家庭の家計収支にとって、
無理なく支出できる金額なのか、
確認が必要です。

それに加えて上述しました、
子どもの教育費やご自身や夫婦の老後の生活費、
といった、その家庭に必要なお金も、
貯めておくことが大切です。

なお、中長期に貯めるなど、
貯める期間によっては、
金融商品を利用して、
資産を形成していくことも可能です。

子どもの大学入学や授業料の資金は、
保険商品の「学資保険」「子ども保険」
「終身保険」など、
また、老後の資金は、「個人年金保険」などで、
毎月積み立て運用をすれば、

現在の金利では、
運用の収益は見込めませんが、
原則元本が保証されていることで、
確実に、必要な時期が来たとき、
資金を調達することができます。

また、定期的に積み立てていくことで、
衝動買いの費用に回ることも避けられるでしょう。

家計運営が難しくなってもすること

年に一回といったように定期的に、
現在と将来の家計収支と貯蓄額を
確認することは必須です。

家計収支に修正が必要になってきたら、
修正するのは、
収入より支出がメインになるでしょう。

ここで、してはいけないことがあります。

このような状況になると、
常とう手段のひとつとして、

現在加入している保険商品の見直しです。

保障の内容を見直して、
時には、不要と思われる保険商品は解約して、
保険料を今より安価にする方法です。

ただ、見直しをする時に、

万一の時、
他人に迷惑をかけてしまうときの補償で、
加入している保険は、
主に損害保険ですが、
自動車保険、火災保険などの見直しは、
慎重にすることが必要です。

長い人生、思い通りにいかなかったことから学ぶ

生涯、すべて思い通りだったという方は、
なかなかいないと思います。

よく言われている言葉ですが、
失敗は、失敗した人でないと、
その理由がわからないことがある。

家計運営についても、
同じ失敗は、繰り返さないように学び、
そこから知恵がつけばよいのです。

私の知り合いにも、
何の知識もなく住宅を購入した時に、
住宅ローンを組んで返済を始めたが、

それまで住んでいた
賃貸住宅の家賃並みの毎月返済額には、
確かにその通りだったが、

その他にも、
毎年固定資産税などの納税、
自宅の修繕費などの経費、

思っていなかった費用が掛かり、
家計を圧迫し始めた。

また、住んでみたら、
夫婦ともに、
立地や間取りなど、
お互いに不満を持つようになり、

結局、夫婦で話し合っって、
その物件は手放し、

今度は、じっくりと住宅購入計画を練り、
再度、別の場所で、
住宅を購入したとのこと。

ご本人は、
最初の住宅購入は失敗でしたが、

住宅購入という、いわば授業料を払って、
学ぶこともあったとのこと。

その内容も少しですが教えてもらいました。

特に、学びになったことは、
家計収支の定期的な確認が大切なこと。

もはや我が家から、
支出できるお金は一銭も無くなった、
と思っても、
そこから家計の見直しはできる。

ただ、その苦しかった時の家計収支の推移をみても、
家計支出は成り立っていて、
体験した人でないと理解はむずかしいだろう、
とも言ってみえました。

つまり、家計運営は、
思い通りにならないものだと理解しておき、
収支のバランスがおかしくなってきたら、
早めに修正をする。

家計が苦しくなるのは、
収入に対して支出の超過が、
原因になることが多いです。

その時期は、生活が苦しくなるように思い、
ころも病みかねません。

しかし、後で思えば、
この窮地で、
将来の生活のために、学べることは多いのです。

また、損害保険の一部など、
補償の内容によっては、
解約どころか、
安価な保険料に変えることもやめた方が良く、
家計の支出もあります。

このように考えて、

家計の運営は、生涯のための学びを得ながら、
続けていくものだと思うのです。

*****:
■「人生の添乗員（R）」からのワンポイントメッセージ
*****:

家計の運営は、

ご自身の人生と同様、

山あり谷ありで、

歩いていくものでしょう！

*****:
■人生の添乗員（R）牧野寿和のプロフィール
*****:

日本で唯一「人生の添乗員（R）」を名乗れる

公正中立な独立系ファイナンシャルプランナー

開業 17 年目

1958 年 名古屋市生まれ、大学（東海大学卒業）以外は、名古屋で生活をする。

1982 年～2001 年 旅行会社に勤務。業務で世界各地を廻っていた時、
日本の方と他国の方々のお金との付き合い方の違いを感じていた。
そんな時渡米した折に、初めてファイナンシャルプランナーの存在を知り、
日本でもこの業務の必要性を認識する。

2003 年 牧野 FP 事務所を創業。
2018 年から牧野 F P 事務所合同会社を設立。

これまでに、延べ 900 件以上の様々な相談に対応。

現在は、相談者へのプランニングの助言と提案を主な業務とし、

相談者に、安心できる生活が送れるように、

丁寧な業務を心がけている。

<保有資格>

・ NPO 法人日本ファイナンシャルプランナーズ（FP）協会 CFP（R）認定者

- ・1級ファイナンシャル・プランニング技能士（資産設計提案業務）
- ・福祉住環境コーディネーター
- ・総合旅行業務取扱管理者 など

<取材協力>

メ～テレ（名古屋テレビ）「UP！」

<出版>

「銀行も不動産屋も絶対教えてくれない！
頭金ゼロでムリなく家を買う方法」河出書房新社

<監修>

「空き家」に困ったら最初に読む本」河出書房新社

現在、相談を受けている方は、名古屋市内はもとより
愛知、岐阜、三重県、
ご紹介をいただいて、首都圏や関西にも
足を延ばす機会が増えてきました。

「人生の添乗員（R）」は、どこまでも行きます。

他人を気にすることなく、
相談者ご自身にとって
有益な提案を心がけています。

*:

■編集後記

*:

生涯を閉じるまで、

人生、何が起こるのかわかりません。

旅行に行く時も、

綿密に旅程を決めて出発する方、

行先も決めずに、
行き当たりばったりの旅行を「良」とする方、

さまざまですね。

ただし、いくら綿密な計画を立てて旅立っても、
旅先では、ハプニングはあります。

多くの場合は、
そのハプニングで起こったことが、

生涯、その旅先の思い出としてご自身のこころに残ります。

また、学ぶことがあれば、

その後の旅行に限らず、

ご自身の生涯に、

活かしていくことができるのです。

人生も旅行同様、何が起こるかわからないです。

生涯、こころに残る、

知恵として、

子どもに相続できる、

人生を歩んでいきたいものですね！

【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

来週もご愛読のほど、
よろしく願い申し上げます。

「人生の添乗員」「人生の行程表」は牧野寿和の登録商標です

■ 【人生の添乗員(R)】からのワンポイントメッセージ

発行：

牧野FP事務所合同会社 代表社員 牧野寿和
〒467-0823 名古屋市瑞穂区津賀田町2-86

■登録・解除は、ご自身でお願いいたします。

こちらから出来ます。

<http://www.mag2.com/m/0001575058.html>

■本メルマガに関するご意見・お問い合わせはこちらまで
お願いいたします

E-MAIL : makino.fp@beach.ocn.ne.jp

牧野FP事務所合同会社 公式サイト : <https://www.makino-fp.com>

■記事内容に関してのトラブル等について当方では一切責任を負いかねます。
ご自身の責任でご判断下さい。
